

平成 18 年度 第 2 回常任委員会 議事録

日時：平成 18 年 7 月 10 日（月） 14:00 から 18:00

場所：ホテル日航新潟

出席者：丸山委員長、長滝顧問、石橋、魚本、宇治、岡澤、河野、坂井、佐藤(良)、島、鈴木、武若、手塚、富田（代理：石川）、二羽、信田、橋本（代理：上田）、睦好、六郷、渡辺、横田幹事長、下村・中村・服部・三島の各幹事

配付資料

- 2-0 平成 18 年度 コンクリート委員会 第 2 回常任委員会 議事次第
- 2-1 平成 18 年度 コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事録（案）
- 2-2-1 コンクリート委員会 内規改定（案） 新旧対応表
- 2-2-2 コンクリート委員会 内規改定（案）
- 2-3-1 研究討論会時間割
- 2-3-2 研究討論会一覧
- 2-3-3 研究討論会一覧 CD-ROM 資料および当日配付資料
- 2-4 フライアッシュ有効活用研究小委員会 委員構成（案）
- 2-5 垂井高架橋の損傷に関する調査研究特別委員会 委員候補者
- 2-6-1 コンクリート標準示方書改訂小委員会ダム部会 委員構成（変更）
- 2-6-2 設計認証・保証システム研究小委員会 委員構成
- 2-6-3 鉄筋継手指針改訂小委員会 委員構成
- 2-7 平成 18 年度コンクリート委員会一般会計予算案
- 2-8 JSCE-KSCE コンクリートジョイントセミナー概要
- 2-9 Outline of JSCE-VIFCEA Tokyo Workshop(Tentative)
- 2-10 平成 18 年度 重点研究課題の審査・選考結果について（回答）
- 2-11 336 コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会 委員名簿
- 2-12 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会「講習会」の開催について

議事：

1．委員長挨拶

丸山委員長より、委員会開始にあたっての挨拶があった。

2．前回議事録の確認（平成 18 年度第 1 回常任委員会）

資料 2-1 の平成 18 年度第 1 回常任委員会議事録（案）が承認された。

3．審議事項

(1) コンクリート委員会内規の改訂

横田幹事長から資料 2-2-1 に基づき、土木学会の調査・研究部門からのコンクリート委員会内規に対す

る改訂依頼についての説明がなされた。調査・研究部門からの説明によると、各委員会内規が外部公開される可能性があるため、フォーマットの統一が主目的であるとのこと。現時点のコンクリート委員会内規によれば、内容の改訂にはコンクリート委員会の承認が必要なため、次回のコンクリート委員会（9月）に改定案を諮るスケジュールを進める予定である。なお、内容に関する変更はほとんど無い。ただし、調査・研究部門からのひな形の第4条には「小委員会の設置は土木学会委員会規定第6条による」との記述がある。これに従うと小委員会の設置に理事会の承認が必要となり小委員会設置の自主性が失われる可能性があるため、改訂案では削除している。これについて調査・研究部門からクレームが付いた場合は、幹事会で対応を検討したい、との説明がなされた。これらに対して、以下のような議論がなされた。

- ・第4条の中の「副委員長」の取り扱いについて、文章の見直しが必要ではないか。
- ・第5条-7の小委員会委員長の選出に関する文章は、3種委員会に対して問題がないか検討が望ましい。
- ・第5条-8の文章に「常任委員会が指名し」の表現を追加する。
- ・第4条の「小委員会の設置は土木学会委員会規定第6条による」の表現を削除するかどうかについては、土木学会委員会規定を改訂するように働きかける方が望ましいので、幹事会にて対応を検討する。
- ・土木学会理事会などでは、各委員会の実情を理解しないまま事務局主導で審議が進む場合もあるので、コンクリート委員会にとって望ましくない決定がなされた場合は、積極的に修正要望を出す必要がある。
- ・その他、本内規（案）に対する意見は今月末までに事務局あるいは幹事会まで連絡頂きたい。

以上の議論を踏まえて、次回のコンクリート委員会での承認を目指して、幹事会側で準備を進めることとなった。

(2)平成18年度全国大会研究討論会

横田幹事長から資料2-3に基づき、今年度の土木学会年次大会においてコンクリート委員会主催の研究討論会として「コンクリート標準示方書と構造物の照査・検査システム」を9月20日（16:40～18:10）に開催する予定であるとの説明がなされた。本討論会座長の魚本委員より各参加者に提供して頂く話題の調整を行っているところであるとの追加説明がなされた。これに対して特に意見はなく、今回提出資料の通りに開催することが承認された。

(3)フライアッシュの有効活用研究小委員会 委員構成

丸山委員長より資料2-4に基づき、受託研究「フライアッシュの有効活用研究小委員会」の委員構成について説明がなされた。比較的若手研究者を対象に全国から幅広く選定するという観点で前川委員長、坂井幹事長に人選をお願いしたとのこと。特に指摘事項はなく、委員構成（案）は了承された。

(4)垂井高架橋損傷対策特別委員会 委員構成

丸山委員長より資料2-5に基づき、受託研究「垂井高架橋の損傷に関する調査研究特別委員会」の委員候補者について説明がなされた。補修・補強分科会（宮川主査）、維持管理分科会（主査未定）、システム分科会（草柳主査）の3分科会で検討を進める予定であり、できれば8月中に第1回委員会を開催し、活動状況については9月のコンクリート委員会にて報告したい。なお、本小委員会はあくまでアドバイザー的な立場をとりたいと考えている。委員構成（案）については了承されたが、以下のようなコメントがなされた。

- ・補修工事は2月に終わる予定との報道もあるので、審議にあまり時間が取れない可能性がある。

・発注者側のコンサルタントの提示案を土木学会側で審議する形式になると思われるので、時間的な余裕は少ないが、対応可能であると考えている。

(5) 第1種、2種小委員会委員追加・変更

丸山委員長より資料 2-6-1 から資料 2-6-3 に基づき、「コンクリート標準示方書改訂小委員会 ダム部会」、「設計認証・保証システム研究小委員会」、「鉄筋継手指針改訂小委員会」の委員追加・変更について説明がなされ、承認された。

(6) その他

特になし

4. 報告事項

(1) 平成 18 年度収入・支出状況

横田幹事長より資料 2-7 に基づき 2006/7/10 現在のコンクリート委員会一般会計状況について説明がなされた。収入の部に「垂井高架橋の損傷に関する調査研究特別委員会」、支出の部に「設計認証・保証システム研究小委員会」、「フライアッシュの有効活用研究小委員会」、「ConMat '08 実行委員会」などが追加された。「国際関連小委員会」は 30 万円の予算増で合計 130 万円を計上している。

(2) 示方書改訂小委員会の活動状況

魚本小委員会委員長より、以下のような説明がなされた。

- ・6月15日に第1回小委員会を開催した。来年の3月までに原稿(第1稿)を完成させ、それをもとに審議を進めて来年中に発行する予定である。ただし、各編の発行時期は若干ずれる可能性もある。
- ・全体に係わる記述として第0章を議論している。特に、責任技術者の役割、責任などについて具体的な説明を加える予定である。責任技術者は土木学会の技術者資格保有者を対象としたいが、資格保有者が少ないのが難点である。
- ・新しい試みとしては、維持管理編に耐震補強を追加する予定である。また、ダム編にはCSGを付録として加える予定である。

(3) KSCE-JSCE コンクリートジョイントセミナー概要

下村幹事より資料 2-8 に基づき、2006 年 9 月 20 日に開催予定の KSCE-JSCE コンクリートジョイントセミナーの概要について説明がなされた。懇親会、記念品などの準備が必要かどうか国際関連小委員会で検討することとなった。

(4) ベトナムワークショップの開催

下村幹事より資料 2-9 に基づき、2006 年 9 月 14 日から 15 日に開催予定のベトナムワークショップについて説明がなされた。ベトナム側から 3 名、日本側から通訳を含めて 10 名が参加する予定であり、吉田賞選考委員会からの助成金 60 万円をもとに運営される。ワークショップの議題の一つである JICA プロジェクトとは何かとの質問があり、堺委員長が JICA のプロジェクトに応募するアイデアを持っており、その可能性を検討する予定であるとの回答があった。

(5)平成18年度重点研究課題の審査・選考結果

横田幹事長より資料 2-10 に基づき、平成18年度重点研究課題の審査・選考結果についての説明がなされた。コンクリート委員会が提案した「コンクリート構造物の設計認証・保証システムに関する研究」は高い評価で選考され、80万円の予算を得ることができた。今年度に「設計認証・保証システム研究小委員会」を立ち上げ具体的な活動を行う予定である。

(6)3種委員会委員の追加・交代

服部幹事より資料 2-11 に基づき、「326委員会 コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会」の委員構成について説明があった。これに対して、丸山委員長より委員長と幹事長が同じ研究室から選定されているのは好ましくないとの指摘があり、鈴木委員長より幹事追加を検討する旨の回答があった。

(7)講習会等開催計画および実施報告

服部幹事より、「材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会 講習会」が9月6日に土木学会講堂にて開催予定であるとの案内がなされた。

(8)その他

睦好委員より5月16日に324委員会の最終報告会を開催し、成功裏に完了したとの報告がなされた。

5.その他

魚本委員より、2008年10月に開催予定の「高強度・高性能コンクリート国際シンポジウム」(JCI, PC技術協会主催, fib 後援)への協力依頼があった。

6.長滝顧問の特別講話

長滝顧問から「土木学会コンクリート標準示方書が果たした役割と今後果たすべき役割」というテーマで、コンクリート標準示方書の経緯等についてご説明頂いた。この中で、昭和初期のコンクリート標準示方書は学生の教科書的な役割もあったのではないかとのご指摘があった。また、鉄道標準や道路橋示方書などとの対比をもとに、今後のコンクリート標準示方書の役割についてご講話頂き、新しい技術を取り入れる姿勢は重要であるとのご意見を頂戴した。荷重の詳細が含まれていないのでモデルコード的な使われ方になっているが、このままでよいかは議論の余地があるとのご指摘もあった。講話の後、質疑応答が行われた。

7.次回開催

次回、第1回コンクリート委員会・第3回常任委員会は2006年9月19日(火)14:00~18:00にリーガロイヤルホテル京都において開催する。

以上